

令和 7 年度第 1 回
甲賀市地域公共交通活性化協議会自動車部会 議事録

1. 日時：令和 7 年 1 2 月 1 2 日（金） 1 5 : 5 0 ～ 1 7 : 1 0

2. 場所：甲賀市まちづくり活動センター「まる一む」2F 多目的室

3. 出席者：委員数 2 7 名 … 出席者 2 0 名 欠席者 7 名

4. 総 会

① 報告事項

報告第 1 号 コミバス・コミタク等の利用状況について

② 協議事項

第 1 号議案 令和 8 年度ダイヤ改正方針について

第 2 号議案 甲賀地域における新しい公共交通サービスの実証運行について

5. その他

6. 閉 会

議事の会議 概要

【開 会】事務局

1. あいさつ (自動車部会長)
2. 委員紹介 (座席表により省略)
3. 議 事

事務局：今日は、委員27名中20名のご出席をいただいております。

当協議会設置要綱第7条第2項に、会議の成立要件として「委員の半数以上の出席」となっており、これを満たしていることをご報告いたします。

それでは、議事に入らせていただきます。

当協議会設置要綱第7条第1項の規定では、会長が議長を行うこととなっておりますことから自動車部会長により議事進行を行っていただきます。それでは、議長よろしく申し上げます。

4. 自動車部会

(1) 報告事項

報告第1号 コミバス・コミタク等の利用状況について

議 長：報告第1号について説明を事務局よりお願いします。

＜事務局から説明＞

議 長：報告第1号について、ご意見、ご質問等あればお伺いします。

委 員：フロンティアパーク及び甲賀西工業団地において実証運行されている予約式乗合タクシーの利用状況を教えてください。

事務局：本実証運行については、コミタクが運行されていない時間帯の移動手段を確保するために実施しておりますが、利用者はいない状況です。

委 員：こういった実証運行をすることは良いことなので、利用者の多い少ないに関わらず、実施していただければと思います。先ほどの説明で、草津線と近江鉄道の定期券保持者がコミバスを無料で乗車できる事業については、利用者は十数人であったと聞きましたが、対象となる鉄道定期券の保持者は何名かわかりますか。

事務局：この場で資料は持ち合わせていませんが、ある程度の人数は把握できるかと思います。

委 員：定期券を所持している人の母数から利用者数を見れば、現在の利用者数が多いか少ないかの判断も変わります。結果の数字だけを見て、利用者数が少ないと決めつけてはいけないと思います。貴生川エリアから甲賀市役所へ実証的にコミタクを運行している事業についても、2ヶ月で利用者が5名とお聞きしましたが、本実証運行によって、移動手段のなかった方がこの実証実験で移動できたのであれば、実施された価値はあるものと考えられます。

また、実証運行を実施する時期に問題があると感じます。4月から移動の習慣

ができるので、10月から開始すると、従来の通勤・通学手段を変えてまで利用される方がいるとは思えません。予算の都合もあり、難しい面もあるかと「思いますが、利用者を増やすためには、2月から3月までの期間で周知し、4月の定期券を買うタイミングで実施することが重要かと思います。

事務局：ご意見として承ります。事業実施の時期についても、今後検討すべき課題と考えています。

議長：他に意見もないようですので、報告第1号についての説明を終わらせていただき、第1号議案へ移らせていただきます。

(2) 協議事項

第1号議案 令和8年度ダイヤ改正方針について

議長：第1号議案について説明を事務局よりお願いします。

＜事務局から説明＞

議長：第1号議案について、ご意見、ご質問等あればお伺いします。

委員：子どもの安心安全のため、通学等についても配慮いただければと思います。

事務局：運転手不足等により厳しい状況は続いておりますが、小中学生の通学手段は確保してまいります。

議長：他に意見もないようですので、第1号議案について、承認いただける方は挙手をお願いします。

(挙手多数)

議長：第1号議案は、承認されました。

第2号議案 甲賀地域における新しい公共交通サービスの実証運行について

議長：第2号議案について説明を事務局よりお願いします。

＜事務局から説明＞

議長：第2号議案について、ご意見、ご質問等あればお伺いします。

委員：ライドシェアについてですが、子どものみが利用する際に、予約することは可能ですか。スマホを持っていない場合はどのようにすれば良いですか。

事務局：すでにライドシェアが導入されている土山の事例では、小学校と中学校でご利用いただいております。小学校については、学校が予約をしておられます。中学校については、土日に部活動のある一部の生徒については、顧問の先生が予約されています。小中学生が予約してはいけないというルールは設けておりませんが、事例もないので、運行事業者とどういった形が良いか協議してまいります。

委員：ライドシェアの運行を担う運転手の担い手については、何年持つと考えられていますか。

事務局：第1種免許のみを所持し、ライドシェア運行をするために採用された運転手が1名、これまで路線バスを運行されていた運転手が1名おられ、主にこの2名が担当されていますが、第1種免許を保有する事業所の事務員についても、状況に応じて対応されています。運転手は65歳を超えられた方が多く、具体的に何年持つかという質問にはお答えしづらい状況です。

委員：運転手の不足により、バスが毎年減便・廃止となっていますが、タクシーの運転手についても同様であり、バスをコミタクに転換していくことも限界がある状況かと思います。そのような背景で公共ライドシェアを導入されたのかと思いますが、このままいけば公共ライドシェアがさらに拡大していくことが考えられます。しかしながら、公共ライドシェアの業務量が増えれば、こちらも運転手不足の課題に直面するのではないかと危惧しております。運転手の担い手がないという状況の中で、どのようにして担い手を確保するかを考えることが重要かと思います。若い方がライドシェアの業務を実施され、運送業に興味を持っていただければ、将来のタクシーやバス、トラック運転手の予備軍となる可能性があります。人がいないから集めようではなく、人がいない中で次の担い手が育成されるような仕組みが必要かと思いますので、交通計画中間見直しの際に検討いただければと思います。

事務局：貴重なご意見をありがとうございます。運転手不足については、どのような対策が求められるのか検討する必要があると考えております。今後、ライドシェアにおいても事業者協力型以外の手法を取り入れなければならない可能性もあることから、運行主体や担い手の確保についても幅広く検討してまいります。

議長：意見もないようですので、第2号議案について、承認いただける方は挙手をお願いします。

(挙手多数)

議長：第2号議案は、承認されました。

5. その他

議長：全ての議題について終了しましたが、その他意見等あればお伺いします。

委員：今回の資料については、利用実態等細かな分析結果が記載されていますので、今後も継続してこのような内容を記載いただければ良いと思います。また、要望を可視化し、記載されている自治体はあまり見かけないので、良いことだと思います。要望を聞いて対応した結果、どうなったかについても出していただければなお良いのではと考えます。例えば停留所を移動して安全に乗降できたということであれば、実施して良かった内容と判断できます。

記載されている意見の中には、遅延するから乗り継ぎできないといった、利用者目線のからの貴重なものも含まれています。全便にわたって遅延を可視化し、今後の改正材料にできればより良い運行ができるのではないかと思います。そ

の中で、送迎による渋滞が原因で遅延しているのであれば、その対策としてコミバスを無料で利用できる実証運行を実施する等、戦略的な視点も必要かと思います。送迎されている方がどの駅で何人利用されているかについても、可視化されるとなおいかがと思います。

コミタクやライドシェア等については、高齢者の移動手段であるイメージされるかもしれませんが、一番の交通弱者は中学生や高校生です。自分たちで移動できない場合は保護者が運転しなければならない。子どもたちが使いやすいという視点で考えていくことも重要かと思います。

資料より、コミバスとコミタクで1人あたりに使用されている金額を計算したところ、コミバスは1人あたりの補助金額が660円であるのに対し、コミタクは1,172円となっています。ダウンサイジングすると移動が高コストになることがわかります。1人あたりの移動距離においても、コミバスよりもコミタクの方が長くなります。1人あたりの収入はコミバスが123円に対し、コミタクは28.2円です。無料利用の多さがわかります。各路線においても75歳以上の無料で乗車されている方がどれだけいるのかを可視化し、高齢者以外の利用者について把握すべきと考えます。目先の不便だという意見にのみの対応するのではなく、可視化により子どもたちの利用実態を把握し、それらに対する対策を講じることで、未来のある公共交通になるのではないかと思います。

事務局：貴重なご意見をありがとうございます。渋滞の件については、特定の路線に意見が偏っており、三雲駅を出てすぐに渋滞の影響を受けてしまうことや、水口の工業団地を通る中で渋滞の影響により、駅で草津線に接続できないといったことが発生しています。路線距離の長さから、渋滞の影響を受けやすい状況となっているので、今後の在り方について考えていければと思います。また、高齢者だけでなく、通学や観光客への対応といった観点を持ち、今後の改正を考えていければと思います。

6. 閉 会